

【理事会議事録】

日 時：2008年3月25日（火）12時～13時

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟1階会議室

出席者：土佐，國枝，柴橋，花岡，高田，北本，田村，堂谷，渡部，中本，比田井，嶋作，高羽，福田，和田

ほかに東條事務長が出席した。

議長は土佐理事長，議事に先立ち，花岡，高田両庶務理事を署名人に選出した。

報 告

1. 前回議事録の確認

高田庶務理事より前回議事録が資料1に基づいて紹介され確認が行われた。

2. 本年会について

中本年会理事より口頭で開催中の年会についての報告が行われた。

3月23日（日）に記者会見が行われ，8社の参加があったこと，すでに新聞2紙，ネット上での記事も数件確認されたことが紹介された。

また年会の参加者は3月25日（火）正午現在で623名であることもあわせて紹介された。

3. 百周年記念講演会・祝賀会について

柴橋副理事長より口頭で3月23日（日）に行われた百周年記念講演会および祝賀会について説明が行われた。講演会については参加者が約300名，祝賀会は160名の参加があったこと，文部科学大臣，日本学術振興会，日本学術会議理事長の祝辞，国外の3機関（イギリス，ヨーロッパ，韓国の天文学会）からの招待客の祝辞のほか，国外6機関からメッセージが寄せられ，大変盛況であった旨報告された。

4. 世界天文年について

國枝副理事長より口頭で世界天文年に関する準備状況について説明が行われた。本年会中に関係者での打ち合わせがもたれる予定で，巡回展についての内容についての詳細を詰める予定であること，展示の題目がまだ決まっていない点などが紹介された。募金委員会への寄付金の集まり具合について質問があり，今後国立天文台が受け皿になる形で進めることで状況の進展を図る予定であることが示された。なお，世界天文年に対する学会からの支出について質問があり，現状では巡回展のみについて予算の支出を考えている旨，あわせて報告された。

5. その他

(1) PASJ General Index の制作取りやめについて

堂谷PASJ理事より資料2に基づいて PASJ General Index について，今後の制作は取りやめる方向で現在検討中であることが示された。次回の理事会において方針を決定することとなった。

(2) 年会の系の登録料と懇親会費について

中本年会理事より，配付資料に基づいて，年会の系の登録料と懇親会費について説明が行われた。基本的には現在の年会運営マニュアル中の記述の確認であり，現状の運用方法で問題なしとの認識で一致した。

(3) 百周年記念出版の現状

百周年記念出版の現状について高田庶務理事より口頭で報告が行われた。現在，2008年5月の10巻目の出版に向けて準備が進んでいること，年内にすべてを出版する事は絶対条件であることが確認された。遅れが顕著な巻も見受けられるとの憂慮から，原稿の収集や編集等で，現状の人員体制に対しててこ入れの必要があるのかどうか，編集委員長の岡村氏に対して相談する必要があるとの認識が示された。

(4) PASJの月刊化について

堂谷PASJ理事より口頭で説明があり，PASJの月刊化に向けて，まずは年9回の発行はできないかを検討中であることが紹介された。編集実務担当の人は何とかできると言っているが，他の関係者とも調

整中であることが紹介された。ボトルネックは編集の人練りであり、担当の人を増やすことを念頭に入れないといけないのではないかとこの意見が出されたほか、タイムスケールについては来年度からでもできればやりたいとの希望なので、予算の目処がつけば人員の強化も含め行動を開始するべきではないかとこの意見が出された。

(5) 月報

和田月報理事より口頭により、今年度で天文月報のバックナンバーのPDF化は終わる予定であることが紹介された。

議 題

1. 新入会員の承認

高田庶務理事より資料3に基づいて新入会員について説明があり了承された。また、退会者等についても報告が行われた。

2. 会員名簿の発行について

高田庶務理事より、口頭で今年度に予定されている会員名簿の発行についての手続きについて説明が行われた。個人情報の扱いには細心の注意を払うべきであり、会員全員に対してはがきによる開示情報の確認を行ったほうが良いのではないかとこの意見が出され、学会としては積極的に行うべきであるとの意見で一致した。なお、開示希望情報についてのみチェックさせ、デフォルトでは名前と会員番号しか載せないなどの工夫が必要であろうとの認識が示された。

3. その他

(1) 記念講演会パンフレットの英語版の配布について

田村会計理事より口頭で、記念講演で配布されたパンフレットの英語版を世界に向けて発信を行ってはどうかとの提案があった。メッセージ性を加える意味で少々の手直しを行ったうえで、各研究機関等に配布することを考えること、日本語版についても月報に載せる方向で検討するべきであるとの意見で一致した。

(2) 学会ホームページの改善について

柴橋副理事長より口頭で、学会のホームページについて、内容が貧弱であり充実させる必要性があること、実務的な事項以外に学会の活動をしっかりと宣伝する内容を日本語ばかりでなく英語でも加えるべきである旨、提案が行われた。

世界各国の天文学会においてはかなりしっかりとした取り組みが行われている点も紹介され、実務理事を中心として改善を検討するグループを用意することで一致した。

基本的に広報の部門を作るなど、抜本的な対応が必要であろうとの認識でも一致した。

(3) 学会費について

和田月報理事より、予算において着実に黒字が積み上がっているならば学会費の値下げを検討することはできないのかとの質問があったが、いくつかの大幅赤字要素が近々に予想されるため、現状で値下げに踏み切ることはできない旨、北本会計理事より回答された。

次回開催は6月21日（土）の予定。

2008年4月19日

議 長 土佐 誠

署名人 花岡庸一郎

署名人 高田 唯史